

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 29. 6. 15 第 193 回国会第 21 号

6 月 15 日（木）、第 21 回の委員会が開かれました。

## 1 農林物資の規格化等に関する法律及び独立行政法人農林水産消費安全技術センター法の一部を改正する法律案（内閣提出第 35 号）（参議院送付）

- ・山本農林水産大臣、齋藤農林水産副大臣、馬場厚生労働大臣政務官、細田農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・畠山和也君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成—自民、公明、維新、仲里利信君（無） 反対—共産 欠席—民進）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 齋藤 洋明君（自民）

- ・JAS 規格の国内外での認知度を高めていくためにどのように取り組んでいくのか。
- ・Codex や ISO 等の公的国際規格に JAS 規格が取り入れられるためにどのように取り組んでいくのか。
- ・JAS 規格の信頼性の確保に向けた農林水産省の決意を伺いたい。

### 齋藤 和子君（共産）

- ・新たに制定する測定方法に関する JAS 規格と機能性表示食品制度との関係は、どのように整理されているのか。
- ・JAS マークの不正使用をどのように防ぐのか。また、国はどのような責任を持つのか。
- ・JAS 規格を品質保証のための表示から企業の広告へと変えることで、消費者の選択する権利が奪われてはならないと考えるが、農林水産大臣の見解を伺いたい。

### 中川 康洋君（公明）

- ・日EU・EPA 交渉の現状についてどのように認識しているか。また農業分野について今後どのような姿勢で臨むのか。
- ・JAS 法の改正が農林水産業の輸出力強化や農林水産物・食品の輸出促進にどのようにつながっていくのか。
- ・輸出拡大に向けた日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）の役割及び体制整備についてどのように考えているのか。

### 吉田 豊史君（維新）

- ・攻めの農業と JAS 法の改正との関係について、どのように考えているのか。
- ・新たな JAS 規格の普及に向けて、どのように取り組んでいくのか。
- ・新たな JAS 規格を制定し、国際規格化を目指す意義について、どのように考えているのか。

## 2 商業捕鯨の実施等のための鯨類科学調査の実施に関する法律案（参議院提出、参法第 106 号）

- ・発議者参議院議員山田修路君（自民）から提案理由の説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成—自民、公明、共産、維新、仲里利信君（無） 欠席—民進）